

昨年10月12日～13日にかけて、市内にも多くの被害をもたらした台風19号ですが、奇しくも昨年の9月議会で「水害対応について」一般質問を行っていました（グリーンズ川越82号参照）。その時の答弁も踏まえ、12月議会ではさらに踏み込んで質問しましたが、以下の4つの質問では同じ答弁が返ってきました。

避難所の収容能力は全く足りていない！

川口の指摘

今回の台風19号における避難勧告対象者は約21万人。市内全ての指定避難所の収容人数でも約3万人と、収容能力は全く足りていないと考えるが、市の考えは？



答弁

すべての方が指定避難所に避難することは困難な状況にある。今後、避難のあり方を協議する中で検討したい。

避難所まで1時間以上の徒歩避難

→ より身近に一時避難できる場所の確保が必要

川口の指摘

市東部には3km四方に避難所もない地域があり、避難に1時間以上かかり、暴風雨の中、徒歩で非難することは困難である。より身近な避難場所として、指定避難所以外の公共施設や、民間施設を一時避難場所として開設する必要があると考えるが、市の考えは？

答弁

必要性については認識している。今後、避難のあり方を協議する中で検討したい。

議会答弁後1か月で方針転換？

川口の指摘

「市東部地域は市が指示する避難所まであまりに遠く、避難までが危険である。浸水想定区域内の学校であっても上層階であれば一時避難場所になる。これらの学校に避難できる体制も確保すべき」との私の提言を9月議会では否定しながら、10月の台風対応では、浸水想定区域内の学校への避難指示を出した。1ヵ月で方針転換したのか？

答弁

浸水想定区域外の避難所までの距離を考えると早急に避難することが困難な状況も想定されたため浸水想定区域内に避難所を開設した。後は、避難のあり方を協議する中で検討したい。

浸水想定1階体育館が避難所？

川口の指摘

浸水想定区域内に避難所を開設した場合には、浸水の恐れがあることを踏まえ、原則的に1階体育館ではなく、上層階の教室を活用すべきと考えるが、市の考えは？また、今回の台風19号の対応では、現場判断により古谷小と東中については上層階を活用し、芳野小は1階体育館を活用していたが、基本的に現場判断とすべき事柄ではないと指摘。

答弁

避難場所である体育館が1階の場合、浸水の恐れがあり、より安全な避難場所の確保が必要である。後は、避難のあり方を協議する中で検討したい。

災害備蓄庫の浸水対策はしない？

川口の指摘

市内14か所の災害備蓄庫の内、6か所は浸水想定区域内にある。これらの浸水対策を市はどう考えているのか？

答弁

具体的な浸水対策は講じていない。万一の際は他の備蓄庫の蓄品の利用を考えている。



川口が感じたこと



今回の台風19号では、越辺川の堤防が決壊し大きな被害が出ました。国や県が管理する河川に対する情報収集には課題があると感じます。

入間川の氾濫危険水位を上回り、警戒レベル4の避難指示（緊急）が出される中、対象地域でも殆どの方は自宅に留まっていたのが現状です。もし、入間川が氾濫していたら、甚大な被害が出ていました。この点も再認識が必要と感じました。

